

C92

ラウガキ帳



真珠  
貝

ADULT ONLY

「クク…今日もプリプリの  
良いケツしとるのお鹿島ちゃん♡」  
「や…やめて…くださいっ…」  
私は心に決めた提督さんが…」

「そうだったのお…でも今は  
ワシの秘書艦じゃろ？」  
「一ヶ月だけです…」  
他に人手がいらっしやらないって  
言うから…私が…」  
「その辺は夜にまた話そうか…  
夜に執務室に…」

「あ…ああ…」  
「気を付けにやいかんぞ…」  
鎮守府によつては「改修」は同じ  
意味じゃない時があるからのお♪  
まあ今更じゃが…明日からが楽しみだのお♡」

あ…

ああ

『洗脳改造』

近代化改修という名の洗脳  
肉体の改造…主に艦娘を慰安任務に  
就ける為に行う、ただし洗脳深度の  
低い初期では一日三十分程しか  
洗脳の効果は出ない。洗脳状態での  
行為は状態が戻ると  
記憶から抹消される

「いやあ…極楽♪極楽♪  
悪いのお鹿島♥」

「……し…仕方ありません…  
これも任務ですから……」

「早く…しゃ…  
射精して…ください…」

『任務誤認』

毎朝、●●提督に  
授乳手コキプレイをして  
起こさなければいけない  
という刷り込み、同時に  
乳房、乳首の感度も上げており  
●●提督がイクと同時に  
乳首でイク暗示もかけられている

「いやいや…三十分丸々  
使わんと勿体無いからのお♥」  
「ど…どういう意味ですか？」  
「こっちの話…うっ♥まずは一発目  
イクぞおっ♥♥」

「ぶじっっっん♥♥♥  
〜ん〜んっっん…

「はあはあ♥♥♥」

「んっっっんどうした？」

「な…なんでもありません！  
あっ！ま…まだ大きくなってる…  
まったくと…この提督さんは…  
仕方ない人…ですね…」



『常識改変』

言葉や着用する衣服が「エロく下品なもの」であることが規律正しいものであるという洗脳二次作用で●提督からセクハラ行為を受けると潮吹きアクメをするという暗示。一週間が経ち洗脳状態は夜十時〜十二時が追加。この状態になる



「……何ですかっさつきから尻まん」ばかり見て……  
…何か御用があったのでは？  
「いやあ今日も制服をシッカリ着こなしてると思ってたなあ♥♥」  
「……あ……ありがとっさつきさま……身だしなみは髪と同様に気を使っ……さわさわっ♥♥」  
「ひいひいひい♥♥」  
「ヒヒっ♪またワシに触られただけでイキおったわ♥この売女が」  
「ひ……酷い……なんっ」と  
言っんです……かっ……うんっ♥  
（でもなんで……この人にセクハラされる度にオマン）……おかしくなってしまっ  
「何を言っても深夜は執務室でワシら二人今日は「こ」で鬼「こ」でもするかのお♥」  
「いっ……いや……やめてっだ……まん汁でるっ……  
ああああ♥♥♥」

「最初は払いのけていたのにお♪」  
 「んっ♡んちゅっ♡んちゅっ♡ん♡」  
 「変われば変わるもんだのお…鹿島」  
 「はひ…最初は…嫌だった…のに…んちゅ♡」  
 「今では…んっ♡ん♡前の提督…より…んっ♡ん♡」

「そうか…ではワシの嫁になる覚悟は出来たか？」  
 「なるっ♡♡なりませすっ♡♡鹿島を●●提督のお嫁さん♡♡毎日々スケベなチューしてくださっ♡♡んちゅ♡♡前の提督とは縁を切りますからあ♡」  
 「よく言ったのお♡今日はチューしながらお前と初マンコじゃ年甲斐もなくチンポがはち切れそうじゃわい♡♡」  
 「ああああ♡す♡い♡♡チューしながら…えっちいい♡鹿島たのしみ♡ですっ♡んちゅ♡」

『嗜好変化』

- 提督からキスをされても逃げるこゝが出来ず…キスする時間が長いほど(加算方式)
- 提督に行為を抱く、一時間もすれば婚姻を考える程…二次作用として好感度が上がる程
- 提督から受ける性的行為に感度も比例して上がる、半月が経過し深夜十二時から三時までこの状態セクハラ行為を受けた直後なので、より体は敏感な状態になっている



『人格書換』

一月経ち…一日23時間洗脳状態にあるが  
 被験体は洗脳を自認…逃亡されないよう  
 非洗脳状態が一分減っていく最後の改造を執行  
 六十回アクメした時以前の提督の記憶は消え  
 ●●提督の便器として新しい記憶の鹿島が産まれる

「いやああああ♡イキたかないっ♡  
 もっ♡イキたかないですっ♡やだっ♡…  
 忘れたく…忘れたくないっ♡♡」  
 「諦める！ワシのザーメン受けるだけで  
 イキまくる体に改造しとるんだ♡  
 このセックスも映像にして前の提督に送る！  
 さあっ♡早くワシだけの鹿島になれえっ♡♡」  
 「なるっ♡なりますからっ♡！自分の  
 意思で…ひおおおっ♡♡  
 ああ…♡だから…やめ…♡て…♡」

「おおおお♡イグイグっ♡♡  
 提督の顔…消えちゃうのにイグウウ♡♡」  
 「ホレ♡もうそろそろ五十回を越えるぞ！  
 「あ…ひひっ♡記憶が沈む…  
 ごめんなさい…提督…さんっ…私  
 ……うひひっ…♡♡」

「壊れよったか…心配するな…  
 提督の記憶が消えれば…精神も安定する…  
 そうなればワシが幸せにしてやるぞ♡  
 ワシの嫁っ♡これでトドメじゃあ！」  
 「おおおお♡くるっ♡今までで最高の  
 あぐめええ♡ていとくひゃん…わらひい…♡  
 ガマンできないいい♡提督さんより…このチンポ  
 選びますうっ♡今…までありが…♡とっ…  
 さよ…なら…ていと…ああ♡チンポっす♡おお  
 ああああああ♡♡♡♡」